幼児期の「楽しい」から青少年期の「挑戦」へ―若い力が未来をつなぐスポーツのまち宗像―

スポまち！表彰2026
㉓福岡県宗像市

＜目標＞　　計画期間：～令和12年3月

子ども一人ひとりが、スポーツと「出会い」、スポーツの「楽しさ」を実感し、自分らしく「挑戦」できるまち“宗像”

（１）スポーツとの「出会い・きっかけ」をつくる ▶ 柱①スポーツサポートセンター事業を通じ、多様な世代、特に子どもにスポーツとの出会いを創出する。

（２）「続ける・選ぶ・挑戦する」環境をつくる ▶ 柱②部活動の地域展開を通じ、少子化の中でも、多様なスポーツに取り組める環境を形成する。

（３）宗像の地域資源をつなぎ可能性を広げる ▶ スポーツ資源を体系化し、本物に触れる機会を創りながら、「やってみたい！」を実現する。

＜ＰＲポイント＞

○幼児期から青少年期まで、成長に応じた多様なスポーツとの出会いをつなぐ。

○スポーツ庁長官賞受賞の学生アイデアを宗像で実装し、若い力をまちづくりへつなげる。

○若者・大学生が「する人」から「支える人」へ成長し、若い力を地域の力へつなぐ。





＜現状・課題＞

【蓄積】運動・スポーツ体験、地域活動など、宗像市独自の取組みをこれまで蓄積してきた。

【資源】学校施設や宗像ユリックス、グローバルアリーナ等、多様な地域資源を有している。

【課題】対象年齢や実施主体等が異なる取組みが多く、世代別の取組みの体系化が課題である。

【土台】幼児期から青少年期に着目し、宗像にあるスポーツ資源を体系化する。

【方向性】スポーツサポートセンター事業と部活動地域展開を柱に、新たに本物に触れる機会を加え、取組みを発展させる。＜共創＞

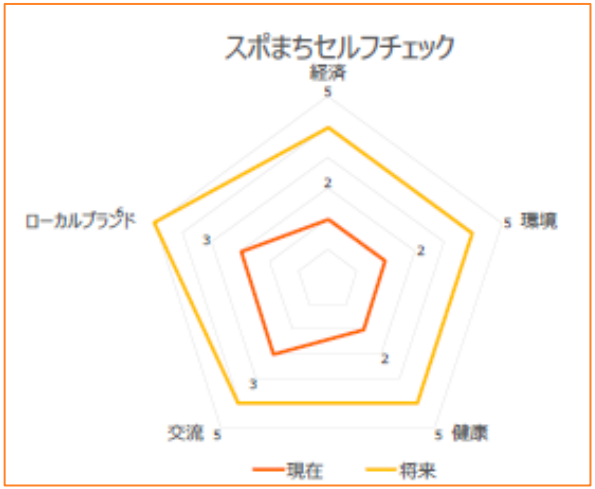
＜主な数値目標＞

指標	R11末
年間延べ参加者数	1,500人
連携団体数	25団体
学生運営参画者数	60人
また参加したい と回答する割合	95%

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



＜セルフチェックシート＞

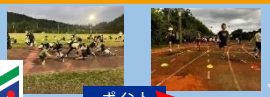


＜総合的な取組内容＞

子どものスポーツの出会いから「楽しい」を生み出し「挑戦」へつなぐ宗像市の2本の柱

土台
宗像スポーツ資源の体系化
既存事業を“点”から“線”、さらに“仕組み”へつなぐ
スポーツサポートセンター事業 / 学校・公共施設 / スポーツ推進委員 / 民間連携 / 大学連携 / 部活動の地域展開

柱1 スポーツサポートセンター事業
スポーツとの「出会い・きっかけづくり」
MSSC スポーツで笑顔・元気あふれるまちづくり 宗像市スポーツサポートセンター
ポイント
親も一緒にスポーツとの出会いを…
☑むなかたっ子熟くなれシリーズ
☑親子リズム体操 ☑ショッピングウォーク

柱2 部活動の地域展開
「続ける・選ぶ・挑戦する」環境づくり

ポイント
部活動の受け皿を…
☑むなクル ☑認定地域クラブ支援

共創
子どもが「本物」に触れる機会の創出

☑プリンセス駅伝参加選手による小学生交流／中・高・大学生の運営参画
☑日本シニアゴルフオープンで小学生が大会運営体験・プロスポーツ観戦
☑グローバルアリーナやアビスパ福岡との連携によるトップスポーツ選手との交流

発展的な取組
若い力の「やってみたい！」を地域で実現

ポイント
☑大学・地域・スポーツ推進委員が伴走
☑大会観戦・教室・運営体験
☑学生アイデアの実装化

【フォローアップ欄】令和８年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号
宗像市文化スポーツ課
0940-36-1540